

能登地域の環境管理と活性化対策の課題

Activation and Environmental Management of Depopulated Noto Area

高橋 強*、村島 和男*、坂田 寧代*

Tsuyoshi TAKAHASHI, Kazuo MURASHIMA and Yasuyo SAKATA

(1) 研究目的

わが国の農村地域は少子高齢化の進行が著しく、担い手不足が深刻化しているが、なかでも石川県能登半島地域では若年層の転出（社会移動）により、農業経営のみならず地域管理・環境管理が不十分となり、森林の荒廃、農地の耕作放棄など深刻な問題を引き起こしている。多くの多面的機能を有する本地域の荒廃に歯止めをかけ、自然環境を維持しながら活性化を図っていくことが必要であり、そのための方策を検討することを目的とする。

(2) 高齢化の進行と耕作放棄の関係

環境管理に関する問題の一例として能登半島地域における耕作放棄地率の分布を地区(旧村)ごとに示すと図-1のとおりで、奥能登地域で特に顕著である。これを重相関分析すると農業就業人口の高齢化率との相関が最も高く、ついで緩傾斜水田の割合、圃場整備率の順であった。農業就業人口の高齢化は人口の高齢化と密接な関係にあることから、耕作放棄防止のような地域環境管理のためには地域の担い手対策としての定住を進めることが重要であることがわかる。

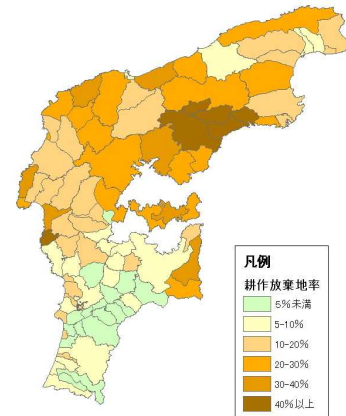


図-1 耕作放棄地率の分布
Rate of abandoned farmland

(3) 研究計画・方法

これまで能登地域内の市町村を単位として少子高齢化の実態を明らかにしてきたが、それを踏まえて平成17年12月には人口減少の特に著しい珠洲市と能登町の全集落の区長を対象として(配布326、回収243、回収率74.5%)、また18年11月にはその中で、活発に活性化対策に取り組んでいる4集落の全世帯を対象として(配布308、回収148、回収率48.1%)アンケート調査を行った。調査項目は、過疎化の現状と課題、能登地域の活性化のあり方、活性化活動の効果と課題等である。

(4) 交流と定住の課題

過疎化の特に著しい珠洲市、能登町の全区長に対して、活性化を図るために必要な施策を尋ねたところ、図-2に示すように「定住を進めるための企業や住宅の誘致」を求める声が圧倒的に多い。また、都市との交流活動についても、「働く場が増える」、「活気が出る」として半数以上の集落で大きな期待を寄せている。

そこで、各種の取り組みが行われている珠洲市、能登町の4集落について戸別アンケートを行い、交流活動への取り組み状況を探ったところ、「参加

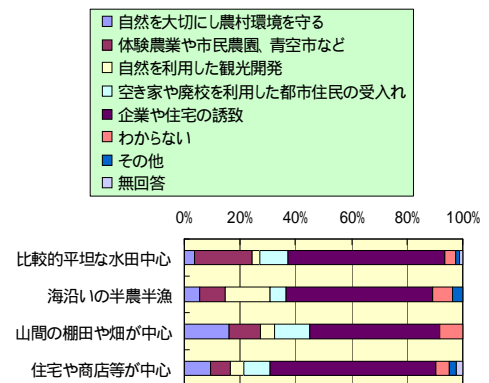


図-2 活性化に必要な施策
Desirable measures for activation

している」,「いずれは参加したい」を合わせると40%程度が肯定的に捉えているが、残り40%程度の住民は高齢化等の理由から参加していない。交流活動への取り組みと交流活動の効果と問題点の関係は図-3のとおりで、積極的に参加していると答えた人達は「現金収入が増えた」との回答よりも「住民のまとまりがよくなった」、「地域を自慢できるようになった」という指摘が多く、活性化への取り組みの効果は経済的効果よりも精神的満足度への効果が大きいことがわかる。一方、「今は参加しているが将来的に不安」から「参加していない」のグループでは「交通事故の心配」、「ゴミの増加」を指摘する声も多く、こうした課題にも対応しながら集落ぐるみの円滑な交流活動を展開していくことが大切である。また高齢化の現実を踏まえ、みんなが交流活動に参加できるように観光型から体験型の交流、さらには環境管理の一員としての参加型、奉仕型の交流のあり方を探ることが望まれる。

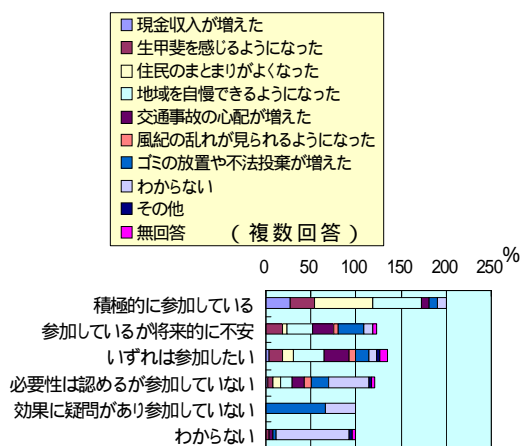


図-3 交流活動の効果と問題点
Effect and issues of activation

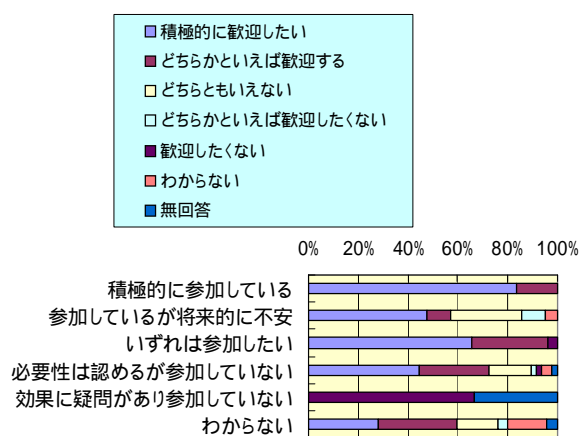


図-4 都市住民の新規居住について
Immigration from urban area

都市住民の新規居住についての集計結果を図-4に示す。「積極的に歓迎」、「どちらかと言えば歓迎」をあわせると60%程度以上が都市住民の移住を歓迎する意向を示しており、地域の受け入れ意欲は大きいことがわかる。しかしながら、高齢化社会の現状を踏まえると、都市からの新規移住を円滑に進めるためには本地域で特に整備の遅れている下水道や医療・福祉関係の整備が不可欠であり(図-5、図-6)、そのためには都市住民の視点からの居住環境整備が大切である。

なお、本研究は(財)北陸建設弘済会の研究助成を受けたものの一部である。

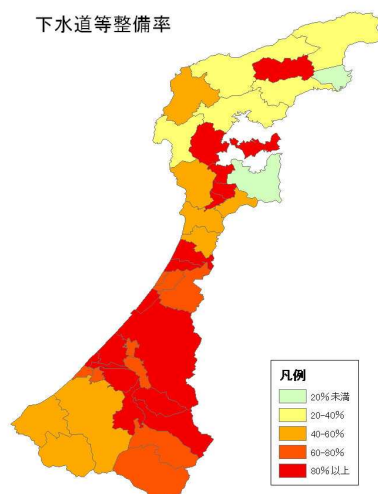


図-5 下水道整備率
Coverage of sewerage

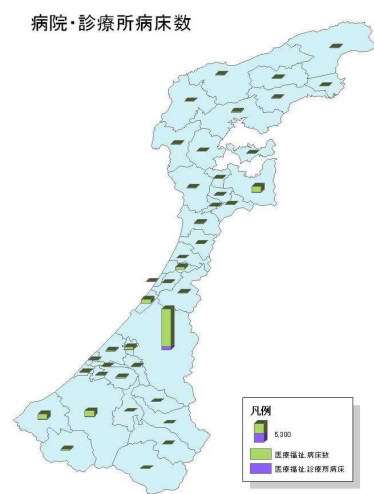


図-6 病院診療所病床数
Beds in hospital and clinic